地域づくい大作戦(生活支援体制整備事業)



佐伯市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

住み慣れた地域で生活が続けられるよう、 地域の困りごとや今ある助け合いの活動を 把握し地域のみなさんと一緒に支え合い、 助け合える地域づくりを進めていきます!



山本 あけの 上堅田・下堅田 西上浦・大入島 地区担当

山内 愛子



春山 千恵子

佐伯 2層生活支援コーディネーター TEL:23-7451 FAX:22-9031



河野 貴史

吉武 光里

池田 みさほ



上浦 2層生活支援コーディネーター TEL:32-3395 FAX:32-2472



安藤 宏

三原 いずみ

蒲江 2層生活支援コーディネーター TEL:42-0154 FAX:42-5300



(鶴見)

神崎 一臣 水口 誠子



木原 恵那 (米水津)

鶴 見 2層生活支援コーディネーター TEL:33-7003 FAX:28-6555 米水津 2層生活支援コーディネーター TEL:36-7910 FAX:39-7302

玉野井 朗子

I層生活支援コーディネーター TEL:22-2150 FAX:22-9031

市内全地区担当 岩木 恵美子



鹿釜 友美 (兼務) (弥生)

塩田 寿代 (本匠)

弥生 2層生活支援コーディネーター TEL:46-3136 FAX:28-7112 本匠 2層生活支援コーディネーター TEL:57-6065 FAX:57-6072



直川 2層生活支援コーディネーター TEL:58-2041 FAX:58-3211



矢野 真也 川井 愛



宇目 2層生活支援コーディネーター TEL:39-6789 FAX:54-3482

お困りごとがあれば各地域の生活支援 コーディネーターへお気軽にご相談く ださい。



佐伯市社協HP

地域活動を支えるのが「生活支援コーディネー ター(地域支え合い推進員)」で、通称「SC」 と呼ばれています。

- ◆1層生活支援コーディネーター(市内全域を担当)
- ・市全域で取組みが効果的なものについて、行政と連 携しながら対応を行います。

- ◆2層生活支援コーディネーター(生活圏域を担当)
- ・地域課題や資源の把握を行い、地域に不足するサービ スについて協議体と連携し、地域で解決するための仕 組みづくりの話し合い・実践を行います。

1層SCの取組み

SC協議・スキルアップ研修会の開催

・2か月に1度、全SCが集まり、各地域での取組み内容を共有しています。 各地域で取り組みを行う中での課題などを共有。また、個々のスキルアップに 努めています。



SC協議はグループワーク中心

取組みの広報・多機関連携

・地域づくり大作戦の説明やSCの役割について、 広く知ってもらうためにイベントでの啓発や、配布用 チラシを作成、又各種イベントへの協力・参加も行って います。





さいき未来の住まい方プロジェ クトにてチラシ配布

SC広報用チラシ

各地域の取組み把握と情報提供

・各地域での取組みや有償ボランティア団体の活動内容を 把握するため、話し合いや協議の場に参加し情報提供やア ドバイスを行っています。

また、SCの役割や地域づくりについて、住民の方にも理解を深めていただくために、取組みの内容を交えながらわかりやすく説明を行っています。

1層定期協議

・月に1度市の担当者との協議の場を設けています。 地域に不足する資源、介護予防サービスの創出、生活支援・ 介護予防サービスの担い手の養成、多様な主体との連携づく りなど、課題をもとに必要な取組みについて1歩先を見据え、 緊密な連携を行っています。



本匠支部見守りレター 山部・樫峰訪問



包括担当職員、保健師との定期協議

2層SC (各地域) の取組み



ちょっとした生活の困りごとを

輝 プロデュース

ライフサポート

にお願いしませんか



地域のささえ合い活動

日常生活のちょっとした困りごとを"住民同士の助け合い"によって支え合う活動です。お互いの助け合いにより安心して暮らせる地域を目指します。

※有償サービスという形で気兼ねなく安心して依頼できることを考えています

原則旧佐伯市内にお住まいの75歳以上の 利用できる方 一人暮らし世帯・高齢者世帯 ※要相談 □ 買い物 □電球交換 □部屋の掃除 □見守り 利用内容 □窓拭き □ ゴミ出し(家庭ごみ) □庭の手入れ □重たい物の移動 □その他 利用料金 10分 200円

問い合わせ先

佐伯市社会福祉協議会 住所:佐伯市7255番地13 電話:0972-23-7451

担当:春山·山本·渡邉



佐伯エリア

<u>〜輝プロデュース〜</u> 有償ボランティア ライフサポート

令和7年4月11日 立ち上げ式 登録サポーター13名 **6月末現在でマッチング件数 19件**





一人暮らし世帯の不燃物ゴミ出し依頼

上浦エリア

・有償ボランティア ちょこボラかみうら



令和6年度は、「オレンジサポーター養成講座」も受講しています! 地域の多様なニーズに応えるべく、今後も SCと連携しながら課題解決を図ります

・移動支援に向けた取組み



NPO法人全国移動サービスネットワーク スポット支援 上浦コミュニティ協議会と連携し、移動支援について話し 合いを進めていきます

弥生エリア

・移送サービス事業 ~はぴどら~

事業団体名を"はぴどら"と 名付け活動を開始! "ハッピードライブ"の略称



モデル事業として、アドバイザーの支援を受けながら事業開始。 実証実験後、令和6年7月より本格始動しました! 現在は、3名の運転ボランティアが対象者の通院支援を行っています。 生活支援と一体的な移動支援として、今後も弥生地域高齢者の「安全」「安心」を運びます。





事務局である弥生支部SCと運転ボランティア、実施主体の代表者はグループ LINEを活用し、常に情報共有を行っております。



本匠エリア

・配食サービス



本匠地域一人暮らし高齢者107名へ・・・ 有償ボランティアグループみずぐるま女性部による手作りの弁当を配布。 コロナ前以来のお弁当配布に、対象者から多くの喜びの連絡がありました!





・体操教室 ~ひとつむぎ~

毎回様々なプログラムを企画しており、介護予防教室を通じた世代間交流を開催。 子どもも大人も、気づきや学びが生まれ、 お互いが思いやりの言葉を掛け合う自然な交流 を行っています。





直川エリア

・脳の健康教室 ~いきいき教室~



大分県初の取組み。公文と連携した大人の脳トレ。 公文が作成した問題集(漢字読み・書き、足し算・引き算計算)に 取組み、脳に刺激を与え向上を図る事業。

3月26日修了式



「続けたい!!」参加者の声から、卒業後の居場所・地域住民が気軽に集える場として 旧幼稚園舎ふれあいハウスを活用したいきいき教室が5月22日(木)スタート







宇目エリア



・介護予防教室 ~このゆびとまれ~

何気ない会話をしながら交流をし、ストレッチや体操などの介護予 防を行います。参加者同士の大切な居場所となっています。

◆継続して参加してもらえるような内容 を考え、毎回違った取組みを実施してい ます。

楽しみながら行う介護予防を今後も目標 にしていきます!



・中学生との交流

高齢者サロンへ中学生が訪問し、おしゃべりやレクレーションをして

楽しむ交流会を行っています。



将来、宇目で農業 をすることが夢な んです!!



サロン参加者は、中学生との交流を 毎回楽しみにしています。 中学校からの依頼で、今後は宇目に ある数カ所のサロンで順次交流会を 行う予定です♪

鶴見エリア

沖松浦6地区にある公民館を活用してもらえたら・・・と区長からの依頼で始まりました。



①注文書は毎週公民館に提出してもらいます!

お茶をしながら会話を楽しむ中で、 支援者はさりげなく健康状態などの 聞き取りを行います。

・拠点を活用した取り組み ~沖松浦御用聞き~

買い物、見守りに外出や交流もプラスされた事業。宅配業者との企業連携と 小地域公民館の活用にもなります。



②注文した商品が公民館へ届きました!

利用者は商品が届く曜日に受け取りの ため公民館を訪問します。 そしてこの日もそのまま交流♪

商品の注文や受け取り、その他の お世話をしてくれるのはハッピー 見守り隊他若手女子メンバー♪



お散歩支援を行いながら 「利用したらいいなぁ」という 方がいないか意識した見守り を行っています。

今後いつでもだれでも利用 できる体制を保ち、 今は若い方々の集いの場と して途切れない仕組みをお 願いしています。

米水津エリア

・買い物支援 ~竹野浦、小浦地区御用聞き~

買い物支援に見守りをプラス。鶴見地域の御用聞きを参考に、12月から米水津でも支援を開始しました!

①毎週木曜日に対象者のお宅訪問。 必要な商品を伺います。 対面で会話をすることで見守りに もなります。



買い物は生活支援ボラの サポーターが行います。



②毎週月曜日にサポーターが注文商品を買いに行きます。

③購入した商品を家まで運びます。



車で通ることができない狭い道は カートで運びます。

重い物は持って帰れんけん 助かるわぁ~~



④購入した商品をお届け。 お代を集金します。

蒲江エリア



・蒲江有償ボランティア~ライフサポート立ち上げ~

~これまでの動き~

平成29年7月28日 地域づくり大作戦 説明会実施



令和5年7月5日 蒲江地区の現状とこれからの支え合い



令和6年10月24日・12月9日 有償ボランティアを考える会 実施



令和7年8月1日~ ライフサポート試験的 実施へ





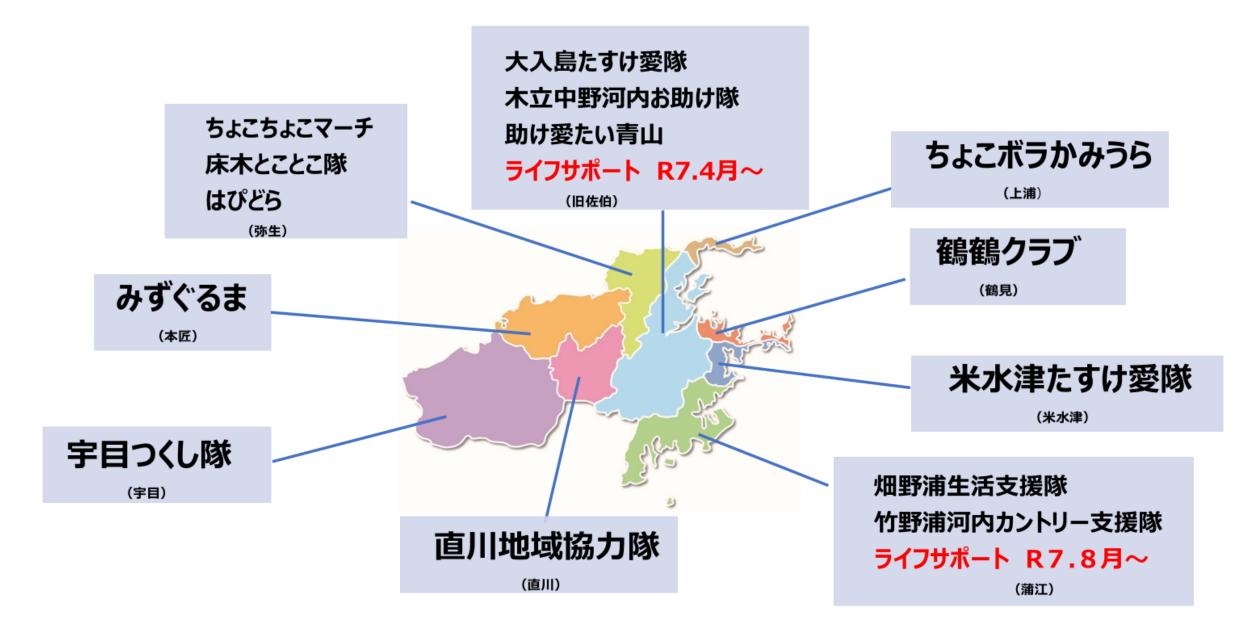
令和7年度の取組み

- ①有償ボランティアについて
- ②運動ボランティアと地域とのマッチング
- ③ケーブルテレビによる広報・啓発活動
- ④多職種・企業との連携



①有償ボランティアについて

~佐伯市内の有償ボランティア団体~



有償ボランティア団体の交流会



・市内にある15の有償ボランティア団体が、今後も活発な取組みを行うために 意見交換や情報共有に努めていきます。



②運動ボランティアと地域とのマッチング

|運動ボランティア 利用までのながれ

卜支援会議

通いの場等の社会参加活 動の参加が望まれるが、そ れが様々な理由で難しい

①卒業後の支援方針



ケアマネー ジャー地域包括 支援センター



短期集中予防 サービス担当セ ラピスト



- ①自宅で運動できる簡単なプログラムリストを作成
- ②プログラムの中から、本人に合うメニューを短期集中予防サービス担当セラピストが選定
- ③訪問型サービスC(最終評価時)に、本人へプログラムを渡す
- ④社会福祉協議会作業療法士と運動ボランティアが訪問し、実践する



対象者

サービス・活動C(短期集中 予防サービス)

> 3~6か月 後に卒業



生活支援コー ディネーター



卒業をサポート

マッチング

社会福祉協議会

作業療法士



短期集中予防サービス担当セラビ ストが、お勧めする体操を選んで、 社会福祉協議会作業療法士と運動 ボランティアさんが、みなさんの運 動をサポートします



3~6か月 後に卒業



毎週1回 30分 自宅に伺い、楽しく運動

③ケーブルテレビによる広報・啓発活動

・より多くの人にこの事業と私たち生活支援コーディネーターの存在を知っていただくために、広報・啓発活動への取組みを強化していきたいと考えています。 9月8日(月)より、行政チャンネル(11ch)で放送!!

"ケーブルテレビ"を活用し、少しでも多くの市民に理解していただけるよう私たちの声を届けます。

私たちSCが"寸劇"にチャレンジして、 わかりやすく、丁寧にお伝えする予定 です♪お楽しみに。







4多職種連携





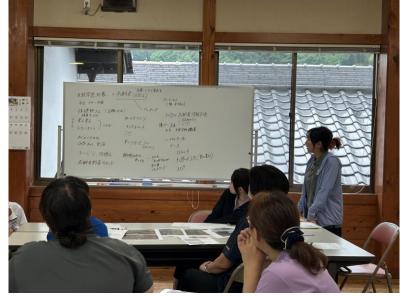
昨年度より繋がりを深めている医療機関や、企業との連携にも力を入れていきたいと考えております。また、これまで通りケアマネジャーとの関係性を深め、地域課題解決のために必要な主体と積極的な繋がりを構築するネットワークづくりに努めます。

企業との連携

~佐伯の商業施設を拠点とした活動~ トキハ(ひまわりホール)に行きたくなるプロジェクト

トキハインダストリー した取り組みについて、協議を進めています。





SC協議



第1回生活支援体制整備部会



佐伯市ボランティア連絡協議会

SCより『あったらいいな』をご提案



★市が把握している居場所・避難所として活用できる 社会資源一覧表

(例) 旧小学校/幼稚園舎・旧児童館・旧医師住宅・空き家など



令和7年度も生活支援コーディネーター全員で力を合わせ、 地域のみなさん、行政のみなさんと一緒に1歩1歩進んでいきます。 ご協力お願いいたします。



R7.5.29 スキルアップ研修会にて ~割烹着の講師とともに~